



総務部

しまのゆんたく in 伊平屋

～持続・発展可能な地域コミュニティの形成に向けて～

沖縄総合事務局職員と地元行政機関、地域住民等が「ゆんたく」し、地域活性化のきっかけになることを目的に「しまのゆんたく」を開催しています。

※ゆんたく＝沖縄の方言で「おしゃべり・談話」

去る1月21日(水)に、豊かな自然や琉球王朝時代の名所・旧跡が数多く存在する「原風景の島」伊平屋島において、「しまのゆんたく in 伊平屋」を開催しました。

会合に先立ち、「ヤイトハタ(アーラミーバイ)養殖場」、「製糖工場」、「精米所」等を伊礼村長の案内により視察し、施設の活用状況や老朽化問題等の説明を受けました。その後、我喜屋公民館において、村役場、各区長、村内各種団体、沖縄県、沖縄総合事務局等から約70名が参加し、「しまのゆんたく」を行いました。

地元からは、人口の減少、若い人材の不足、農業・漁業の担い手不足、子育て環境の向上、村営住宅の整備等の経済・生活環境の現状や課題が紹介され、島の基幹産業を担う製糖工場・精米所の老朽化対策、我喜屋ダムの利水、山羊畜産への支援等の要望がありました。

これらの課題や要望に対応して、沖縄県、沖縄総合事務局等から、地域住民が実施主体となる地域振興策、新規就農者支援策、農村の活動や営農の継続

支援策、6次産業化支援策、地域資源を活用した事業化支援策、観光振興策等が紹介されました。

その後、集落営農・6次産業化による儲かる農業に向けた取組、集落内の空家を利用した住環境の整備、民泊等観光産業の推進、製糖工場・精米所の老朽化対策(建替え等)が必要である旨、活発な意見交換が行われました。

会合の終わりに、伊礼村長から「伊平屋村では、島に生まれたことに誇りを持ち、島に住んで良かったと思うよう、本日の「ゆんたく」の要望や意見を尊重し、引き続き、地域住民と一緒に島の発展に頑張っていきたい」と、発言がありました。



我喜屋区長

伊礼伊平屋村長

河合沖縄総合事務局長

